

理 念

人間を大切にする企業風土をつくり
人間を幸せにする企業を目指します

指 針

1. 何事にも積極的に挑戦します
2. 創造力を働かせ、新しい価値を創っていきます
3. 地域と共に生き、地域に貢献できることを喜びとします

基本方針

1. 医療人としての自覚を持ち患者さんの命と尊厳を守ります
2. 患者さんの人権とプライバシーを最大限に尊重します
3. 地域社会の一員として地域の医療・福祉の充実に努めます
4. 思いやりのある医療と快適な療養環境を目指します
5. 自己研鑽に努め質の高い医療を提供します

医療安全への取り組み

医療安全管理者 鈴木 典子



4月から医療安全管理者を担当しております鈴木と申します。

連日、報告されるインシデントを分析し職員と共に再発防止と改善に取り組んでいます。私が大切にしていることは、できる範囲内で現場に行き職員と共に考えて改善策を導くことです。現場の声を聴き状況を把握することで、真の問題が見えてくると考えるからです。

当院では毎月100件以上のインシデント報告があり、その中でも経鼻チューブ抜去のインシデントが多くみられます。経鼻チューブの必要性をカンファレンスで検討するのは勿論のこと、必要な場合は多職種で検討し、身体拘束することなく過ごせるよう取り組んでいます。抜去されない工夫として、手にタオルを握ってもらうことや気分転換を図ること、チューブの長さやテープの止め方等、色々な対策を検討しています。

次に多いのが、薬剤投与に関するインシデントです。確認不足、指示受けによるミス等があります。内服時間の間違いに関しては、薬包を朝・昼・夕で色分けすることで再発防止に繋がり効果的な対策となっています。今後は、内服薬の準備や確認の方法、業務の手順等を検討し再発防止に取り組みたいと思っています。

当院は今年度目標として「インシデント0レベル13%以上」を掲げています。0レベルとは、ミスはあったが患者には実施されなかった、未然に防ぐことができたインシデントです。0レベルのインシデントを通し、なぜ未然に防ぐことができたのか、個人の気づきを組織全体で共有し、患者の安全、医療の安全に繋げていくことが重要です。

インシデントの原因の多くにはヒューマンエラーがあります。思い込みや確認不足、伝達ミス等ありますが、人は誰でも間違える、エラーを起こすということを前提にして作業環境を見直し、システムの改善に取り組む必要があります。インシデント報告の重要性を伝え、医療安全に対する意識を高めていく役割を今後も果たしていきたいと考えております。

《主任あいさつ》

信頼できる仲間とともに

今年6月より5階ホスピス病棟の看護主任になりました嶋田です。2015年秋に外旭川病院に入職し、今年で9年目となりました。以前は大学病院の外科病棟で勤務しておりましたが、長年の目標であった緩和ケアに携わる看護師になるため当院へ就職し、就職してからはずっとホスピス病棟で勤務しております。看護師を目指したのは小学生の頃、テレビで見た看護師の仕事がきっかけでした。その後、看護師でなくてもいいのでは…と思った事もありましたが、中学3年生の時、叔父が胃癌のため若くして亡くなった事をきっかけに本格的に看護の道を目

5階ホスピス病棟
看護主任

嶋田 愛

指すようになりました。叔父が亡くなる時、医療の知識がなく何も出来なかった、辛い思いをさせてしまった。その後悔が私を看護の世界へと導きました。今はホスピスに勤務し、あの時叔父にできなかった事を看護師としてケアできることに喜びを感じています。看護はチームワークです。決して一人では良いケアを提供できませんし、最良のケアを継続していくことも困難です。5階ホスピスの信頼できる仲間と共に、これからも切磋琢磨しながら日々の業務に努めていきたいと思えます。

部署紹介

リハビリテーション科

新しい仲間とともに リハビリ体制強化

診療技術部
リハビリテーション科長
保坂 真子



リハビリ科は、今年4月に新たに2名のスタッフが加わり、理学療法士4名、作業療法士2名、言語聴覚士2名となりました。主治医からの指示のもと患者さんの「できるようになりたい」という思いに応えられるよう、患者さん一人一人にあわせた具体的な目標を持ってリハビリテーションを行うことを心がけています。

理学療法士
笠原 直樹



介護付有料老人ホームソフィーから異動になりました。老人ホームと病院では利用者さん⇔患者さんという呼び名だけでなく、リハビリの対象となる患者さんの重症度など、何から何まで違うためスタッフに協力してもらいながら取り組んでおります。患者さんのわずかな変化に気づき、反応を引き出し、状態を改善できるよう頑張っていますのでよろしくお願いします。

言語聴覚士
山平 真彩



夫の帰郷に合わせて秋田に引っ越し4月から働き始めました。埼玉で介護士として聾高齢者専門の特別養護施設で3年、その後言語聴覚士として4年働きました。これまでと異なった職場環境にとっても不安が大きかったです。スタッフの皆さんが優しく接してくださるため落ち着いて働いています。回復期で培ったスキルで良いリハビリが提供できるよう、日々取り組んでいきたいと思えます。

これからも定期的なカンファレンスの開催によりリハビリ方針をチーム全体で共有し、「車椅子に乗りたい」「コミュニケーション手段を持ちたい」「スプーンがもてる」「あめをなめたい」など様々な思いをくみ取りリハビリをすすめていきます。患者さんのご希望やご家族の思いに寄り添い、より良いリハビリテーションが提供できるよう取り組んでいきたいと思えます。

外旭川病院 副看護部長
感染制御看護師

水 澤 肇

インフルエンザは年間を通して感染者が出ていますが、多くは初冬～春先にかけて流行します。発症した場合、高熱や関節の痛みなどつらい症状が1週間程度続き、時には重篤な合併症を併発します。インフルエンザは大きく分けて3種類あり、症状の重くなるB型は2種類、A型は144種類に分類されます。インフルエンザにはワクチンが効果的で、接種後1週間くらいから抗体が上昇し始め、接種後1か月まででピークに達し、3～4か月後徐々に低下していきます。ワクチン接種は11月末から12月初旬頃まで接種すると流行期をカバーできます。ワクチンには約50%の感染防止効果の他に重症化を防止する効果があります。インフルエンザは（コロナも）飛沫、接触で感染する病気です。正しいマスクの装着と手洗いをこまめに行いましょう。また感染拡大期は3密を避けましょう。（3密：密接、密閉、密集）。そして症状が出た場合はゆっくりと休むことが大切です。



新入職員あいさつ

看護部
看護師
渡辺さん

これまで北海道で働いていましたが、結婚を機に秋田へ引っ越してきました。初めは言葉の違いに戸惑うこともありましたが、少しずつ慣れてきました。当院で働き3カ月が過ぎ、患者さんひとりひとりの個性を理解することができてきました。毎日の関わりやカンファレンスを通し、より良い看護が提供できるように頑張りたいと思います。

看護部
介護福祉士
小玉さん

以前も介護の仕事をしていましたが、当院に入職してからは、経験したことのない業務もあり、とても不安でしたがスタッフの皆さんが気さくに声を掛けてくれ、わからないことも丁寧に指導してもらいました。患者さんの些細な変化に気づき、心に寄り添える介護ができるよう日々努めていきたいと思えます。



WITH YOU GROUP

ウイズユーグループ公式 YouTube チャンネル



ウイズユーグループではYouTube 公式チャンネルを開設しました。外旭川病院のスタッフをはじめ、グループの魅力を紹介する様々なコンテンツを追加していく予定です。みなさまからの「いいね」ボタン、「チャンネル登録」をお待ちしております。よろしくお願いいたします。



加熱式タバコの危険性と禁煙のコツ

外旭川病院 名誉院長 三浦 進一

加熱式タバコをご存じでしょうか。我々タバコの害と戦っている者にとっては、とても厄介なものです。それは、多くの方が紙巻きタバコから加熱式タバコに変えたから禁煙できたと勘違いしているからです。紙巻きタバコが火をつけて煙を吸うのに対し、加熱式では温度の低い熱の加え方で、言わばタバコの葉を蒸しているような構造になっています。煙に含まれるニコチンの量は紙巻きタバコの80%も含まれているのがあります。そして多くの発がん物質を含んでいることは同じことがわかりました。政府は今まで加熱式タバコの成分表示を義務付けてなかったのですが、今後表示義務を課すること、また長期的な健康への影響についても検討していくことになりました。

タバコが止められないのは、ニコチン依存症という薬物中毒が原因です。ニコチンは脳からドーパミンという気持ちの良くなる物質を分泌させます。忙しい時やストレスの多い時を避けて、禁煙にチャレンジしてみませんか。タバコを吸いたくなったらニコチン以外で脳からドーパミンを出してくれる行為をしましょう。例えば氷を浮かべた冷たい水を飲むとか、タバコを口にくわえる感覚になるガムや歯ごたえのあ

る塩昆布、スルメを噛むなどです。1週間頑張ることができれば禁煙を続ける自信ができるはずです。もっと専門的なアドバイスが欲しければ禁煙外来を受診して、薬の力を借りるのもいいでしょう。

一時的に加熱式タバコなどに逃げるのはやめましょう。これ以上タバコに散財するのではなく、そのお金をご自分やご家族のこれからの人生を豊かにするために使うべきです。



この写真は今年6月ポートタワーセリオンで「イエローグリーンキャンペーン」と称して1か月間ライトアップしていただいた時のものです。これは受動喫煙ゼロをめざして、タバコの煙による健康被害を無くしたいという切なる願いを表現したものです。

医療法人 惇慧会

外旭川病院

〒010-0802 秋田市外旭川字三後田 142
TEL 018-868-5511 FAX 018-868-5577
<https://jkk-sotohp.or.jp/sotohp/>



■ 病床数 241床(療養病棟 207床、緩和ケア病棟 34床)
■ 診療科目 /内科、皮膚科、リハビリテーション科

